



夢

誰もが、心の中で、「プロスポーツ選手になりたい。」とか「世界の国々を旅してみたい。」などと夢を抱くことがあると思います。夢は、今の現状からでは到底達成できないようなことを願って抱くことであり、目標とはニュアンスが違う感じがします。目標が努力すれば手が届く所にあるものに対して、夢は、もっと遥か遠い先にあるものに向かっていくことだと思います。

みんなも心の中に夢を抱いて持っている人は多いと思います。私は、二十歳の時に一つ夢を持ちました。その夢は、自分の力や才能では到底実現できないことなので、恥ずかしい気持ちもあり、誰にも言わないで心の中にしまっておきました。夢を玉手箱に入れて、大学を卒業した私は、教師になりました。教師になった理由の一つは、その夢に少し関連する職業だったこともありま

す。中学校の教師になって、担任をしながら毎日、生徒と触れ合い、あっという間に年月が過ぎていきました。気がつくと定年を迎えて、六十歳を超えていました。

二十歳の時に抱いた夢は、私の心の中でまだ、小さな小さな炎を灯しています。昨年の4月に私が二十歳の時に書いた童話をたまたま読んでもらえる機会があって、読み終わった後に「楽しかったです。」という感想をもらいました。その時から、夢に向かって今から動いてみようと思

の中の小さな小さな炎が大きくなるのを感じました。

私が、二十歳のころに抱いた夢は「童話作家」です。子どもの心の世界を書いてみたいと思いました。自分の心の奥にある玉手箱には、子どもの時に、母や兄や友達や先生など色々な人からもらった、たくさんの温もりや優しさが詰まっています。この色あせることのない温もりや優しさを本にして伝えたいと思いました。私は、いたずらで手の焼ける少年でしたので、本当に多くの人が私にかかわってくれました。その時に私を優しく包んでくれました。その温もりを「童話」を書いて表現できる作家になれたらなと思いました。この年になって、素直に玉手箱を開けてみたい気持ちになりました。出版社に連絡を取って、自主出版することにしました。まずは、二十歳の時に書いた童話「里枝ちゃん」を出版しようと思っています。出版するために原稿を活字に直したのですが、打ち間違いや誤字がありますので、教頭先生や職員室の多くの先生に読んでもらって校正してもらっています。みんなが、卒業するまでに出版できたらと思っているのですが、間に合うかどうかは微妙です。もし、出版前の完成本ではない状況ですが、校正本を読んでみたい人は、教えてください。

自主出版することに決めて、実際に夢に向かって動き出したら、エネルギーがあふれてくるのが実感できます。夢を抱いたら、豊かに生きるためにはその夢を素直に追うのが大事だなと思いました。六十歳を過ぎてから、夢を追い始めた自分です。みんなは、夢を抱いたら、夢を抱けたら、今からすぐに追ってくださいね。

夢を抱いたら！それを追う時からロマンが生まれるものだと思うから……。

